

広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 No.149号

町の人口

(10月末日現在)

男	4,288人
女	4,764人
総人口	9,052人
世帯数	2,762世帯

渡欧を終えて

赤池町長 池永輝昭

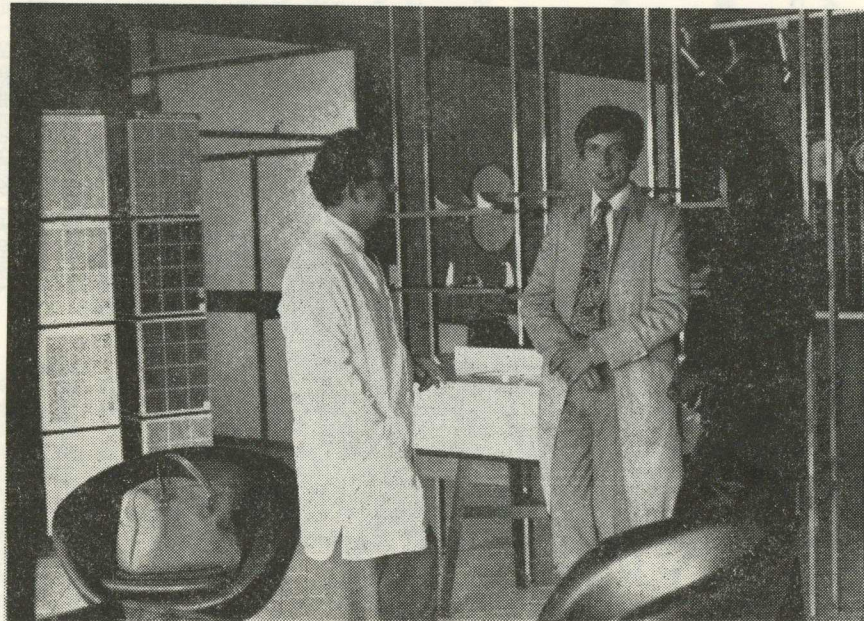
十月三日夜、十一時過ぎに羽田を飛び立ったJAL405便は途中、アラスカ大陸のアンカレッジとデンマークのコペンハーゲンに立寄り、予定どおり十月四日現地時間の午前十時(日本時間午後六時)パリ郊外ドゴール空港に着く。

さすがに欧州一の近代施設化を誇る空港といわれるだけあって、ロビーから税関検問所迄はエスカレーターが我々を運んでくれる。長時間空の旅で疲れたのか夜明けを思わせるオーロラ地帯の空の明るさに十分な睡眠がとれなかったのか、出発前の羽田空港での一行のあの燥ぎは誰れにもなく、ただだまって添乗員の指示に従う。目的地のフランスに無事到着した安堵感が一層疲れを増すのか、交通公社さしまわしのバスに乗っても一同のダンマリはつゞく、フランス化した日本人ガイドのどことなく冷たく感じる態度にも親近感はずいぶん減る、説明もきかぬビジネス的な感をうける。

車がセーヌ川を渡って右岸に添って市内に入り、シテ島のゴシック建築の代表作といわれるノートルダム寺院や、フランス革命で有名なコンシエルジュリ等が目の前

とじて保存して下さい。

フ(新橋)を渡ってルーヴル宮殿前を通ってコンコルド広場やエトワール凱旋門を見せながら宿泊地のホテルに着いた頃には、すっかり元気を取り戻し、荷物を部屋に



に見える頃になると皆、窓ガラスに額をくっつけ、次々に現われる外の景色に目をみはりカメラのシャッターがせわしくなる。車がフランス最古の橋ポン・ヌ

置いたまま外に飛び出す元気な若者もいる。午後一時、駐仏日本大使館を訪れるも午後三時まで昼休みとて玄関のシャッターを降ろして中に入

れてくれない。

附近をぶらつき時間をつぶして再び訪れ、出発前に田中大助先生より中山大使宛の添書を提出して面会を求めると外出中として中島二等書記官が替って、我々の要望をきいてくれる。夕方暗くなるまで各所に電話して我々の目的がかなえられるような工場を調べてくれる。

パリ市内から八十キロ程離れたフェルテ・ゴッシュエ村の、ビルロワ・エ・ボック社の工場が十月七日月曜日ならば工場見学をさせてくれるとの了解を取りつけてもらう。フランスでは土曜・日曜はほとんど休むので工場見学は無理とすることを知らされる。

大使館紹介の通訳相京昌子女史が約束の午前八時半きっかりに、ホテルを迎えにくる。通りがかりのタクシーを三百フラン(一万八千円)でチャーターして目的地に向う。

工場長オレッセ氏の出迎えをうけ事務所主任ソーロ氏の案内でタイルが出来上がるまでの全工程見学させてもらう。工場内での写真撮影は禁止されているとのこと、青柳君の質問に対する回答もほんとうに親切で、我々が納得のいくまで説明してくれる。なんの変哲もないひとかたまりの土が、素晴らしいタイルとなつて出てくるまでのひとつひとつ工程は今でも頭の中に焼きついて離れない。

フランススタイルの五〇%はこの工場の千四百人(ほとんど女子工

(2)ペー・へつづく

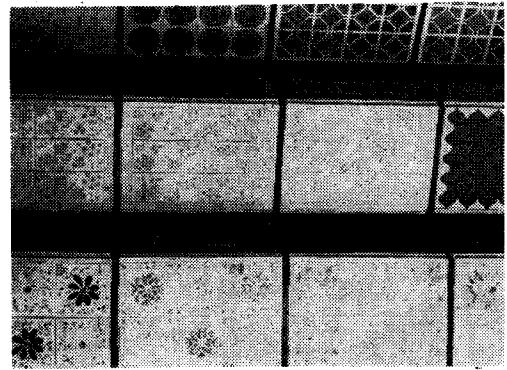
員)の従業員の手で生産されると説明の現場主任は胸を張る。一日の粘土の使用量は百六十トンで、毎月四十万平方メートルのタイルが製品化され、このような工場をわが社は世界各地に十九も持っている……と説明の口調も熱っぽい。

昼食には街のレストランに案内され、本場フランス料理を腹一杯ご馳走になる。お客様を充分にもてなすのがフランスの習慣として我々に遠慮をさせない。

午後もひきつづき見学をし、午後四時、親切にお世話下さった会社の方々に深く感謝をしながら工場をあとにする。

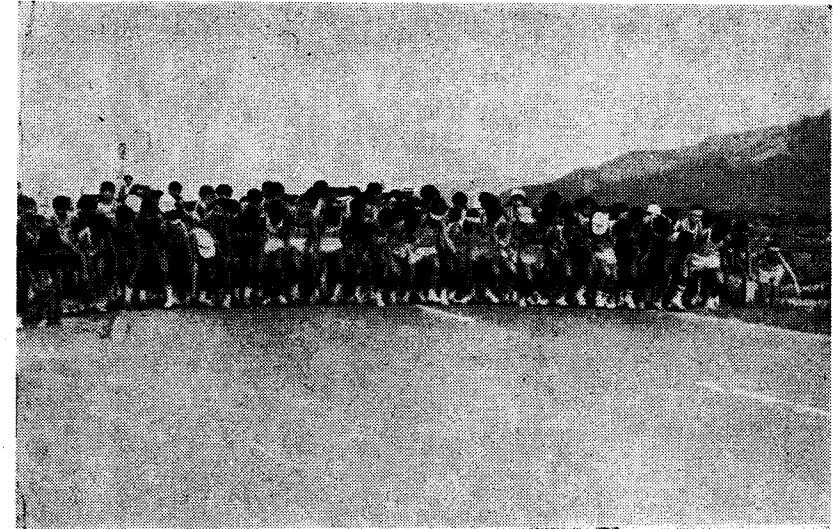
十月八日パリ市内リヨン駅十八時三十分発の夜行列車タラチノにてローマに向けて出発する。

つづく

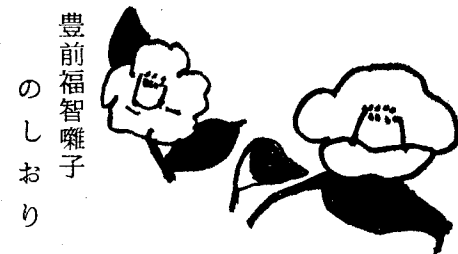


- 上野峡 ロードレース大会 盛大に挙行される**
- 十月十三日(日)第14回目が快晴のもとで挙行されました。中学、高校、一般の部と三部に分けて行なわれましたが、昨年の記録を更新しました。
- 一般、五十六人、高校、六十五人、中学、百二十一人の参加者で行なわれました。
- 成績はつぎのとおりです。
- 二十キロメートル
- 町内小・中学生の部
 - 一位 田中浩二 四分十九秒
 - 二位 佐藤徳久 四分二十一秒
 - 三位 太田喜勝 四分三十一秒
- 五十キロメートル
- 中学校の部
 - 一位 白川嘉継 仲津中学校 十六分二十七秒(大会新)
 - 二位 田上忠行 小竹中学校 十六分三十一秒
 - 三位 安元淳一 霧ヶ丘中学校 十六分三十四秒
- 十キロメートル
- 高校の部
 - 一位 岡 聡典 田川高校 三十三分三十二秒
 - 二位 梅木敏幸 筑豊工業高校 三十三分四十八秒
 - 三位 八山秀文 久留米工業高校

- 三十四分一秒
- 二十キロメートル
- 一般の部
- 一位 川野祐二 新日鉄化学 一時間四分八秒(大会新)
- 二位 吉田昭雄 三菱化成 一時間四分四十一秒



- 三位 世利重樹 九州電工 一時間四分五十一秒
- 尚、本大会において交通安全協会赤池支部及び赤池派出所に大変御迷惑をおかけし、大会が安全かつ迅速に行なわれましたことを厚くお礼申し上げます。



今より三百年前、筑豊一帯長雨の後、早天つづきで、五穀は穫れず、加ふるに悪疫流行し、人は飢え、牛馬のおれるもの山野にみちたといわれ、人々は五穀豊饒悪疫退散を念じて、福智神社に神楽及び祭り囃子を舞い捧げて万年願として祈願したと伝えられ、これが本囃子の源となり、代々うけつがれて、明治、大正、昭和の前期まで奉納されてきましたが、戦後戦後の社会の変動が激しいので中断されましたが、社会や教育の安定と向上の中で古代芸能の復興が叫ばれ、郷土囃子も熱烈な郷土愛と、よきものを永久に継承するという点から、皆川氏等の手により、小学生を対象に練習に精進し約二年にして、今やと郷土の皆様の前におめえする次第です。住民の皆様のご協力とご理解をお願いします。



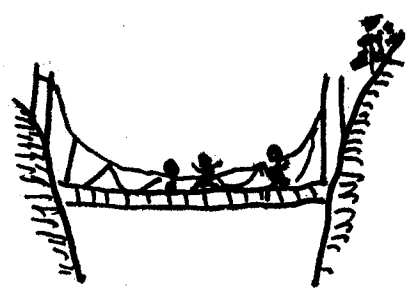
年末の交通事故防止

秋の行楽シーズンは、マイカーのレジャーに関連した交通事故が多発しています。スピードの出しすぎ、過労(居眠り)および、わき見運転、飲酒運転による交通事故を防止しましょう。

長距離(時間)運転するときは少なくとも二時間に十五分程度の休憩をとるようにしましょう。

特に地理に不案内な場所では、精神的にも疲労度が高くなるので事前によく道路状況を調べ、ゆとりある運転をするようにして下さい。歩行者は道路に飛び出したり渋滞する車の中から横断しないようにしましょう。又行楽地の近くの交通環境は激変するので、子供にその変化を理解させ、遊びや日常の行動に気をつけて下さい。

各家庭で交通安全について話し合い、家庭から飲酒運転を追究して下さい。会社・事務所などで配席をもうける場合は事前に車を利用する出勤を自粛させ、車を運転してきている場合は責任者が「キー」を保管するようにして下さい。



赤池公民館句会

- 昏れ残る空とも無月明りとも 加す美
- 林しずえ 嘉穂高校教諭
- 灯されて扉に影おく秋の花 その女
- 桑野その 元小学校教諭
- 空澄みて運動会の準備終ゆ 順子
- 大森順子 役場勤務
- 秘栗のままを茶店の売っており 駒子
- 池田澄子 主婦
- 山脈のなだらかにあり冬日落つ 昭女
- 大久保昭子 天郷狂動務
- 通勤の見なれし景も人も秋 てい子
- 野口定子 町立病院勤務
- 荷車のかくる程に黍積んで 桜ん坊
- 日永田益男 印刷業

天候も定まり稲田賑やかに

- 青甫
- 中村市郎 立石電機勤務
- 洗いの水冷やかに温泉(でゆ)の里 春翁
- 三木春男 商店主
- さみしさはそこに落葉の舞ふかき 幸枝
- 香月幸枝 中学教諭
- 蝶とんでいて山の日の冷やかに 水心子
- 下田昭市 役場勤務
- 英彦の子の通ぐさ兜さがし 一步
- 池田利文 お茶屋

短評

- 昏れ残る空とも無月明りとも 今宵は名月である。俳句になじむ者として、殊の外、月の出は待ち遠しいものである。
- 昏れた空に明るさが見ゆるのは昏れ残る明るさであろうか、曇ってはいるが月代(月が出ようとして空が白みわたること)のようである。月が出て欲しいものだ。
- 選者吟
- 夕焼けて危日おだやかなりしかな 白石天留翁(ホトトギス 同人)
- 「毎週水曜日夜七時池田利文(一歩)宅にて句会を行っています。(芭蕉概説)
- (i)出生と名称
- 寛永十二年(一六四四年)
- 伊賀上野の赤坂町に生る
- (ii)仕官時代



十歳の頃上野の侍大将藤堂新七郎良精(よしきよ)に仕えた。

芭蕉二十三歳の時、主に逃かれ高野山の報恩院へ主の位牌を納めて後主家に暇を願ったが許されず無断で故郷を出る。

(東大教授金子武雄著より)

町民交通傷害保険の保険金支払額増額される

町民の皆様には、町民交通傷害保険に多数ご加入いただき、ありがとうございます。

今年度保険会社より保険金支払額の大幅引き上げの通知がありました。

引き上げ額は表のとおりです。

内	容	新	旧
死亡	金 保険金	80万円	50万円
後遺	金 保険金	50	30
治療	6ヶ月以上の傷害	12	9
	5ヶ月以上6ヶ月未満の傷害	9	7.5
	4ヶ月 " 5ヶ月 "	7	6
	3ヶ月 " 4ヶ月 "	5	4.5

なお、この保険は、町内に住んでいる方及び当町へ通勤、通学している方なら、どなたでも加入できます。

毎年八月一日から一年契約(中途加入もできます。)で保険料は月割五十円です。

又、保険該当は十一月一日以降事故発生ものから実施することになります。

加入希望の方は役場企画室までお申込み下さい。



写真クラブ 上野徳次郎作 画題 《憩い》

郵便局よりお願い

年末には、平常の数倍にもおよぶ郵便物が出回りますので、皆様のおだしにられた郵便物を早く正確にお届けするため、次の点について格別のご協力をお願いいたします。

- 1、年末の小包は、おそくとも十二月十五日頃までにおだし下さい。
- 2、年賀状も早目に書いておだし下さい。おそくとも十二月二十二日までに。

3、あて名は正しくはつきりとお書き下さい。

4、郵便番号もお忘れなく正しくはつきりとお書き下さい。

5、転入、転出をしたなら転居届をおだし下さい。

6、郵便受箱をお備え下さい。
(赤池郵便局)

高等課程訓練生募集案内

募集案内

- 1、募集訓練科
塗装科
自動車塗装を主体とする金属塗

装及び木工塗装、建築塗装の知識と技能を習得させ、有能な職業人を養成する。

2、修業年限
三年

3、定員
二十名

4、応募資格
昭和五十年三月、中学校卒業見

込の者、またはこれと同等以上の学力を有する者と認められる者

5、受付期間
第一次 昭和49年12月2日より
昭和50年1月20日まで

第二次 昭和50年2月3日より
昭和50年3月22日まで

なお、第一次で定員を充足したときは、第二次募集を行なわないことがあります。

6、場所 日時 方法

(イ)場所 飯塚総合職業訓練校

(ロ)日時 第一次

昭和50年1月27日(月)

午前9時

第二次

昭和50年3月26日(水)

午前9時

(ハ)方法

適正検査、面接

1 訓練科

自動車整備科 45名

機械製図科 20名

2 修業年限
各一年

3 応募資格

25才未満で高校卒業又は昭和50年3月高校卒業見込の男女

4 応募及び受付
中卒と同じ

尚、詳細については、飯塚総合職業訓練校又はもよりの公共職業安定所にお問い合わせ下さい。

「広報あかいけ」の投稿依頼について

住民の皆さんに「広報あかいけ」に掲載したい原稿があれば係まで投稿下さい。

お 礼



- 一、金一封 池田頼殿
 - 亡妻 邦江殿(十支所)
 - 一、金一封 脇坂清殿
 - 亡母 シオ殿(七支所)
 - 一、金一封 池田智之殿
 - 亡父 石松殿(九支所)
 - 一、金一封 秋山幸雄殿
 - 亡父 幸太郎殿(一支所)
 - 一、金一封 薦田信子殿
 - 亡夫 達巳殿(八支所)
 - 一、金一封 池田学殿
 - 亡父 貢殿(九支所)
 - 一、金一封 定宗俊作殿
 - 亡母 ハルエ殿(三支所)
 - 一、金一封 太田武雄殿
 - 亡妻 ナツミ殿(四支所)
 - 一、金一封 武末ミチ子殿
 - 亡夫 種吉殿(十一支所)
 - 一、金一封 田口千代殿
 - 亡父 静雄殿(三支所)
- 尚、この外に早麻秋四郎殿より快気祝として金一封を受けましたので紙上をもって厚くお礼を申し上げます。